

は出来なからうと思ひます、今日の問題の獨立自給と云ふことと少し横道に外れましたやうなことを申して相濟まぬと思ふのでありますが、兎に角造船界に於ては今日は前段申上げたやうな事情に迫つて居るのでありますが、併し是は獨り造船界斗りではないと思ふ、機械工業と雖も然り、電氣工業と雖も同じと思ふ、今足りないものを如何に「サブライ」するかと云ふことが、獨立自給よりも先立つて緊急問題であらうと思ひます、今日は各方面の方が多數お出でになりました此の席で十分御意見を聴くことが出来すのは幸であります、只私は音頭取の資格で一言造船界の状況を申上げたに過ぎぬのであります、甚だ詰らぬことで御清聴を汚しました(拍手)

鐵鋼の獨立自給策に就て

工學博士 野呂景義

私が今日此處で御話するに付てちよつと御斷りを申上げます、通知書には日本鐵鋼協會理事長野呂と書いてありますが、實際此鐵鋼協會に於きましては夙に我が國の製鐵事業の發展と云ふことに付きまして、特に調査委員を設けて現今調査に従事しつゝありまして、其結果は來る三月の總會に於て世に公けにする考へでありますから、未だ其結果を申すことは出来ませぬ、今回までに其結果が見えて居つたならば幾分か諸君の御參考になることもあつたと思ひますが、残念ながら今日まで其運びに至つて居りませぬ、故に今日私は日本鐵鋼協會を代表して鐵に付ての意見を述べると云ふことが出来ませぬ、今日私が申上げるのは全く日本鐵鋼協會と離れて野呂一個の考を申上げる積りでありませぬ、日本鐵鋼協會の代表者と云ふことでなく御聽取りを願ひたいのであります、私は今日の會に出て御話をするには少しも豫期して居りませぬ、實は旅に出て居りまして、一昨日戻つたやうな譯で、協會から旅先さへ今日此處に出て話をするやうにと云ふ通知でありまして、急いで歸つて來たと云ふ始末でありまして、何の準備もありません、唯現時の有様を見て頭に浮んだ所の一二項を御話して、さうして之を今日の討論の問題にして戴きたい、詰り言ひ換れば討論の問題を提出すると云ふに過ぎないのであります。

世間には動もすれば今日まで鐵及鋼と云ふものは巷に於て商つて居る所の一つの商品と同一視して金さへ出せば何處からでも買へるかの如く信じて居る人が是まで澤山ありました、私どもは三十年このかた鐵と云ふものは決してさう云う性質のものでないと云ふことを大いに主張しましたけれども、悲しいかな世人の耳にはそれが徹底しなかつたのであります、今日に於て初めて鐵と云ふものは尋常一般の商品でないと云ふことが漸く世人に分つて來ました、實に鐵を澤山採へる所の國は平時にあつては益々富を増し、戰時にあつては勝利を得ると云ふことが當時の歐洲の亂を見て誰にも分るやうになつて來ました、そこで此鐵の業と云ふものはなかく容易に興るべきものでない、今日日本に鐵が無いと言つて大騒ぎをしても一朝一夕に之を得ると云ふことは到底望むべきことでありませぬ、唯私は此機に於て日本に確かなる製鐵事業の土臺を置くことが必要と思ふのであります、それで如何して確かなる土臺を置くかと申しますと、先づ以て鐵の鑛石と云ふことに目を着けねばならぬ、今日日本の鐵鑛を以て鐵を採へて居る所のものは釜石鑛山とか其他一二の小部分でありまして、大部分は支那地方から鐵鑛を輸入して居ります、平時に於ては何處から鑛石を得ても差支ありませぬけれども、一朝事有る時はどうするか、今は三十萬噸採へる計畫があるとか、五十萬噸採へる計畫があるとか言ひますが、供給の本を絶たれた時は僅かほか出來ませぬ、故に先づ以て鐵鋼の獨立自給と云ふことを圖るに付ては根本たる所の鐵鑛のことに着目しなければならぬ、さすれば日本には鐵鑛が有るか無いかと云ふ問題になつて來ます、私は是は確かに多量にあると云ふことは明言が出來ませぬ、實はまだそれまでの調査は着て居りませぬ、地中に埋つて居る所の鑛石である故に、唯表面から見ただけでは分りにくいものであります、殊に我が國の鐵鑛の存在して居る所の有様は大きな鑛床になつて居りませぬ、僅か釜石一箇所を除いては他は何れも方々に小さな鑛床が散亂して居るかの如く見えます、之を一々調査すると云ふことは餘ほど難いことであります、故に何か獎勵法を以て之を調査すると云ふ方法を設けるのが私は最も確實にして良い方法だと思ふのであります、即ち言ひ換ふれば鐵鑛採掘の獎勵法を設ける、其獎勵の方法に付て私の考へる所では、一は幸にして今日官業の八幡製鐵所に於きましては段々成績も良くなりませぬし、収入も殖えて來て益々擴張の時代になつて來ました、故に今日購入して居る所

の一部分に今より一層高價の代を拂つても全體の營業に付てさほど影響をすべきものではないのであります、今日製鐵所に於て買つて居る所の鑛石の價格を二つに分ける、外國品を買ふときにはこれ／＼の値段、日本の鐵鑛を買ふときには特に高價に買上げる、既に此方法に付ては製鐵所に於ても幾分かは行はれつゝありますが、まだ今日日本の鐵鑛を特に買ふと云ふ値段が少しく廉過ぎる、今一層日本の鐵鑛を買ふに付ては高價に買ふと云ふことにしたいと思ふのであります、又もう一つの方法は鐵鑛運送のことであり、殊に此鐵鑛に付きましては鐵道の運賃を低減する、鐵道の方に於て損の無い範圍までに運搬の賃銀を下げて貰ひ、且つ又鐵鑛地に向つては鐵道の分岐線を設けるとか云ふやうなことをして貰ひたい、尙ほもう一つの方法は日本の鐵鑛を以て銑を拵へる者に向つて獎勵方法を設けるのであります、例へば日本の鐵鑛を以て拵へた銑は一噸に付て何ほどの獎勵金を政府から與へる、是は新しい方法でも何でもない、現に行はれて居る方法であります、近く申せば東洋に於て濠洲の如きは濠洲の鑛石を以て拵へた所の銑鐵には一噸に付て十二志、六圓近くの補助を與へて居る、此濠洲の鐵を拵へる獎勵方法に付ては今現に濠洲に於て調査が進行しつゝあります、其結果は如何になるかまだ分りませぬが、兎に角さう云ふ方法が設けてあります、又亞米利加の加奈陀に於ては是は既に過去つたことであります、千九百八年頃でありました、加奈陀の鑛石を以て拵へた所の銑鐵に向つては一噸に付て二弗十仙、即ち四圓二十錢の補助を與へて居る、斯う云ふ例もあります、此例に依つて今日私は具體的に何ほどの救助を與へるが宜いと言ふことは申しませぬが、兎に角斯う云ふ方法を設けてなにかの補助金を與へると云ふことにしたいと思つて居ります。

今は鑛石のことを申したのであります、此次は銑鐵のことであり、今日は鐵及鋼の需要が益々増して來て供給の途が誠に狭くなつて來ました、之に付ては方々で鋼製造と云ふことが大變に喧ましくなつて來ました、先刻今岡君が述べられた通りに大阪地方其他で製鋼の計畫がズン／＼と殖えて來ますけれども、ざつと此計畫を見ますと、銑から拵へると云ふ計畫が甚だ少いやうに見える、此鋼の原料たる所の銑と云ふことに着目しないで、一歩進んだ先きの鋼の計畫をすると云ふことは如何でありませうか、是は鐵の獨立自給と云ふことに幾らか反して居りはしないか、

銑は支那地方からも得られる、印度からも得られる、方々から得られるやうに思はれるか知れませぬが、實際に於ては私は之を得ることは容易くないと思ふ、現に今日は其兆候が現はれて居る、鋼々と人が言ひますが、今日の有様はどうであるか、實は鋼よりも銑の方の缺乏が激しくなつて來た、此事を能く覺られて今日計畫される人は銑の供給と云ふことに大いに着目されむことを希望するのであります、殊に鋼の製造に付ては銑から製造すると非常に利益がある、是は皆さん御承知でありませうが、話の序として其の利益の點を一應申上げて置きます、銑で買つて之を鋼にするには如何なる製法と雖も一度之を熔し直さなければならぬ、熔解して鋼に變へるのであります、それを熔解するには熔解爐と云ふ別の爐を用ゐることもあります、又鋼を拵へる爐でやることもあります、何れにしても熔解して行かなければならぬ、其熔解するには費用が掛りますが、若し銑を拵へると鋼を製造するとを一つの工場で爲せば熔解爐から出る所の銑を其熔けた湯の儘で製鋼爐に移すことが出來ます、即ち鐵を再熔する費用が省けます、それからもう一つは副産物の關係であります、銑鐵を拵へるには勢ひどうしても同じ工場で「コークス」を拵へることが得策であります、そこで「コークス」窯竝に銑を拵へる熔解爐から出る副産物、是が大變價值のあるものであります、此處で一々其副産物の名等は申す必要はありませぬが、極概略どのくらゐの價があるかと云ふことを見ますと、「コークス」窯から出る所の瓦斯竝に熔解爐から出る所の瓦斯、此二つの瓦斯は鋼の製造に要る、鋼の製造と言つても唯鋼を拵へるのてありませぬ、製品を拵へる動力とか云ふものに蒸氣を出す爲めの石炭を要しない、石炭なくして「コークス」窯竝に熔解爐から出た所の瓦斯で間に合ふ、詰り冷えた所の銑鐵を以てすればそれだけ石炭の費用を要するのには、鋼と同じ工場に於て銑を拵へれば石炭なしで出來る、斯う云ふことになりました、之をざつと費用に積つて見ますと、銑と鋼とを籠めて居る所の工場で出來上つた製品の値段と、銑を他から買入れて鋼を拵へる所の工場で出來た所の鋼と比べて一噸に付て少くも五圓或は六七圓の差を生ずるやうになります、此差を生ずると云ふことは、今日は鋼が高いので少々高い費用が掛つても差支ありませぬが、他日歐羅巴の戦争が平和に復した場合には又鐵の値段も元に復するに違ひない、元に復するのみならず歐羅巴から日本に向つて激しい競争を試るだらうと思ひます、其競争を試る場合に出來

得る限り基礎を丈夫にして置いて十分に此競争に勝つだけの準備を今日からして置かねばならぬ、其準備としては今申上げた通りに銑を買つてするよりも自分からして銑を拵へて置くこと云ふことが最も必要であらう、斯う考へるのであります、是が今日の急場に應ずるの手段ではありませぬか、唯基礎を固くすると云ふことに付て申上げたのであります。

それから鋼のことに移ります、今日鋼の製造を如何に奨励して行つたら宜いか、此奨励方法は種々ありませうが、今日までの世界總ての國の鋼製造に付ての有様を見ますと、何れの國でも特殊の奨励保護なくして成立つた國は先づ無いと言つて宜からうと思ひます、但し英國の如きは自ら一番先んじて世界に對しての鐵の王と云ふ位置に立つて居りますから、奨励の必要は無かつたかも知れませぬが、其後漸々盛んになつて來た國は何れも保護を受けて成立つて居ります、其保護の方法に付て一番功能のあつたのは他にあらず矢張り此輸入税保護税に依つて成立つて居る、此保護税のことに付ても先年私は税の改正の場合につまらぬ小冊子を拵へまして世間に發表したことがあります、どうも種々外交の關係上からして十分なる保護を與へることが出来なかつたのは如何にも遺憾とする所であり、將來安心して此事業を奨励しやうと思ふには歐羅巴の戰後に於ても十分に成立つて行けると云ふだけの保證を與へると事の必要があらうと思ひます、其保證は矢張り今申した保護税に依るのが一番適當であらう、併し保護税の困難なる點は保護税を課すればそれだけ我が國の鐵の値段が騰貴しなければならぬ、して見ると直接此鐵の需要者に堪へない事情があるかの如くに見えますが、併し之を細かく分析して見ますと、一時に鐵の値段が騰ると大變に造船其他の人が困難を感じるやうに見えますけれども、漸々是で推して行つて見ますと、鐵の値段が騰ると云ふことは、唯直接需要者の負擔でなくして、遂には國民一般の負擔になる勘定であります、故に直接の需要者はさほど憂ふるには及ばぬかと思ひます、併ながら造船者とか或は或種の機械製造者とか云ふやうな人は鐵の値段が騰れば直接に自分が製造する所の船や機械等に直ぐ影響をして來まして、無論此點に於て外國との競争が困難になると云ふことは事實であります、故に政府に於ても外國との競争を恐るゝ點に於て造船及機械にそれだけ保護してやれば差支へないのであります、其保

護さへすれば代價の騰つて来るのは國民一般の負擔になつて之を國民に割付ければ誠に微々たるものであります、今私は茲に一の數字を設けて其理由を申し上げますれば、先づ近い將來に於て我が國で入用な鐵鋼材の量はどのくらゐかと思つと、先づ百五十萬噸ぐらゐを標準にしたら宜いだらうと思ひます、此百五十萬噸と云ふものが悉く内地で出来るものでない、假へ出来ても又た如何なる方法を設けても全く輸入を防ぐと云ふことはむづかしい、世界各國の例に依つて獨逸の國すら隨分輸入がある、亞米利加でもさうである、逆も今日日本で一時に外國から這入つて来るものを防いで仕舞ふと云ふことは出來難い話であります、先づ私の希望では百五十萬噸の需要のあるものは三分の一、五十萬噸は外國から這入つて来るものと茲に勘定を立てるのであります、それで此五十萬噸に對して今日どの位いな税を増したら宜いかと言ひますと、現に成立つて居る所の輸入税は種々其品物の種類形狀等に依つて變つて居りますが、先づ條鐵竿鐵の類が百斤に付いて六十錢になつて居ります、それから板鐵類は是は厚いと薄いで違ひますが、七十五錢乃至六十錢になつて居ります、之を大體細かいものは除けて引括めて普通の平均を見ますと、大凡一噸に付て十圓ぐらゐな税になつて居ります、此上私は餘計は望まない、此五割即ち一噸に付て五圓増せば先づ以て歐羅巴の故意に向ふから競争して來る場合は除いて普通の競争には勝ち得ることが出来るだらうと考へます、さうしますと百萬噸に付て僅か五百萬圓、之を日本の人口に比べて見ますと、六千萬人に向つて僅か五百萬圓、一人に向つて八錢ばかりにしか當らぬ、此くらゐなことは國民は堪へることが出来るのであります、又是は少し俗な例であります、日本國民が食用として居る所の米はどれだけあるか、先づ五千萬石、此五千萬石の米を費して居る、此米の價に割當て見ると一石に付て僅か十錢、國民が一石に付て十錢の米の値上げがあつたとするも別に苦しい筈は無い、して見ると此税を増すと云ふことは國民一般に對して少しも憂ふるに足らぬことであります、唯直接に造船とか或種の機械とかに關係して居る人の保護はどうするかと云ふと、今一噸に付て五圓だけ騰る、其五圓騰るだけを特に補助すれば宜い、此事に付ては少しも政府は損をしない、費用なくして保護が出来る、外國から這入つて來るのを五十萬噸と見ますと、其五十萬噸のものに向つて五圓づつ高くなる、今まで取つて居つたよりも高い税が取れる、其金が幾らかと云ふと、五十萬噸

の五圓、五五の二百五十萬圓と云ふものが政府の増入になる、之を以て直接の關係ある造船並に機械等の補助に充てれば十分である、して見ると政府は少しも費用なくして此製鐵事業を十分保護して發達させることが出来るやうになつて來ます。

斯の如く今申述べました所の方法を設けて先づ以て鑛石と云ふことに重きを置き、次で銑と云ふものに重きを置き且つ鋼の製造に付ては十分なる輸入税に依つての保護を與へる、こゝで斯く基礎を固めて事業を進めて行つたならば歐羅巴の戦後に於て他からの侵襲を受けても壞はれない確實なる所の鐵及鋼の製造所が出来たらう、斯う私は信ずるのであります、併し日本に於て幾つも製鋼會社と云ふやうなものが出來ますと、自ら内地に於ての競争に依つて共に潰れると云ふことに付ても亦茲に一つの警戒を與へて置かなければならぬ、斯う申せば如何にも我が國人の悪口を言ふやうであります、どうも總ての業を見ますと、共同心が甚だ鈍いやうであります、共同心が鈍いが爲に競争と云ふことが激しくなつて共に潰れると云ふ虞れがあるのであります、此點に付ては今私は斯うしたら宜いと云ふ案は出させぬが、兎に角競争は今からして避けなければならぬ、之を避けなければならぬ、之を避ける一つの方法として大體を申せば、今日方々に幾つも會社が興ります、此會社の興るのは結構であります、私の希望は三つ興る會社ならば之を一つにして貰ひたい、さうでなくば百萬圓や百五十萬圓の會社では前申す通り銑から鋼を拵へると云ふことはどうしても出來ない、會社が大きくなつて來れば資本が多くなる、資本が多くなれば今の通り銑から鋼を拵へて行くことが出来る、且つ基礎も固くなつて互の競争と云ふものも激しくない、殊に斯う云ふ大きな會社になりますと數も少くなつて此間に「シンジゲート」の如き組合の組織も組むことが容易くなるだらうと思ひます、折角今日種の企てがあるが、其企ては數を少くして成るべく資本金の多いやうにしたいと云ふ私は希望を有つて居ります。

唯今まで申しました所は今日の表題となつて居る所の獨立自給と云ふことを目的として御話したのであります、さて今日此危急の場合に如何にして應ずるかと云ふことに付きましては私は意見がありますけれども、それは方々に關係があつて茲に申上げることとは残念ながら出來ませぬから、今日は是で御免を蒙ります(拍手)